



# 志村学園

令和6年10月3日  
東京都立志村学園  
校長 並木信治  
高等部就業技術科  
第6号

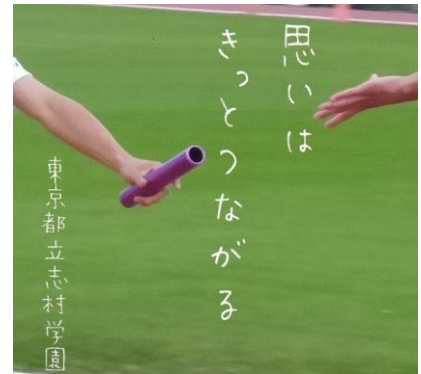
## 自分も相手も大切に

副校長 加部 務

猛暑日が続いた今年の夏、そして残暑厳しい9月でしたが、ようやく秋らしさを感じられるようになりました。季節の変わり目で、体調を崩しやすくなるので気を付けていきましょう。

さて、タイトルの「自分も相手も大切に」は、5月号でも使用しました。これは、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」という人権尊重の理念を指しています。すでにお知らせしたように、本校は、今年度から来年度にかけて、人権尊重教育推進校として、人権教育の研究に取り組んでいます。特に、インターネットによる人権侵害について、この「自分も相手も大切に」するという視点を大切にしながら研究を深めてきました。その過程で、5月には、関係機関の協力を得て、生徒は勿論のこと、保護者向けのセーフティ教室も実施して、「生徒がネット被害にあわない、加害者にならない」ための情報を共有することができました。また、夏季休業中及び9月には、外部から専門の講師を招き、教員の研修会や「情報モラル」に関する研究授業の協議会を実施しました。ここで、大切なのは、「生徒が実際の生活場面で、これまでの学習の成果を行動や態度として現わすことができる」ということです。

後期の教育活動には、1年生は「移動教室」、2年生は「修学旅行」、3年生は「卒業遠足」と、それぞれが楽しみにしている学年行事があります。「自分も相手も大切に」気持ちを育み、充実した行事になるよう、生徒の主体性を引き出しながら教育活動に取り組んでまいります。後期も引き続き、御理解・御協力をよろしく願いいたします。



## 後期の学習について

教務主任 遠山 晶子

前期の保護者会、授業参観そして面談では、御多忙の中御出席いただきありがとうございました。4月から積み重ねてきている学校生活の様々な学びは、後期の学校生活に繋がっていきます。今後の授業については、5月30日に配布いたしました「令和6年度 年間授業計画の配布について」にて御確認いただけます。今年度の年間授業計画には、生徒が「働く力」に繋がることを特に意識して臨んでもらいたい単元に、**働く力**として明記しております。御家庭で話題にしていただくことで、「職業に関する教科」のみならず全ての授業においてより学びの意識が高まりますので、御協力をよろしく願います。なお、年間授業計画を閲覧いただくためには、ユーザー名とパスワードが必要です。同日に、マチコミメールでもお知らせしておりますが、御不明の場合は遠慮なく担任までお問合せください。

文章の書き方・スピーチ	7	◆構成を考え原稿を作成し、自分の思いを聞き手に効果的に伝える。	・ワークシートを活用し、スピーチ内容の構成や効果的な表現方法を考えられるようになる。
<b>働く力</b>			

～令和6年度年間授業計画より～

また、後期には大きな行事が多く予定されております。学年ごとの行事や全校で取り組む「陸上競技記録会」「成果発表会」等を通して生徒が成長する機会となりますよう、教職員一同準備を進めてまいります。御協力いただくこともあるかとは思いますが、後期もどうぞよろしく願いいたします。

## 介護・コミュニケーションコース 読み聞かせを中心とした交流について

コース担当 内田 浩二

就業技術科の介護・コミュニケーションコースの3年生は、月1回、肢体不自由教育部門の小学部児童と絵本の読み聞かせを中心とした交流を行っています。コースに所属する生徒にとって、肢体不自由教育部門の児童との直接交流は初めての経験になります。絵本の読み聞かせも多く生徒が未経験です。

読み聞かせを担当する生徒は、まず、学校図書館にあるたくさんの絵本の中から、読み聞かせたい絵本を仲間と相談しながら探します。学校図書館専門員の先生に相談することもあります。絵本が選り終わったら、読み聞かせの練習をします。絵本の持ち方や読み方、ページをめくるタイミングなど、相手の立場になって考え、読み方などを試行錯誤しながら練習を重ねていきます。

読み聞かせ当日、最初はお互い緊張しています。読み聞かせが始まると、次第に聞き手が、絵本に聞き入ったり笑ったり、セリフの一部を言ったり、心から楽しんでいる様子が読み手側に伝わってきます。そうすると、読み手の緊張も解れ、練習の成果を発揮した生き生きとした読み聞かせとなっていきます。このようなお互いの相乗効果もあり、和やかな雰囲気の中で、一緒に絵本の世界を楽しむことができます。また、読み聞かせ以外にも、ゲームや音楽での交流にも取り組んでいます。ゲームは、コースの生徒と小学部児童をミックスしたチームでポッチャをしました。最後まで接戦で大いに盛り上がりました。音楽による交流は、「あなたのお名前は?」「友達賛歌」の歌で、一緒に身振りや手振りをしながら音楽を楽しむ交流を図りました。

交流活動を通して、相手のことを考え、コミュニケーションの大切さについて考える機会を改めてもつことができました。これからも交流の機会を広げていけるように取り組んでいきます。



## スマートスクール端末活用について

教育情報部主任 徳岡 壮平

今年度より、スマートスクール端末を就業技術科全員が所有し授業で活用しています。端末を活用して、オンライン上のデータを参考にしたり、Teams を活用して課題や創作に取り組んでいます。また、インターネット情報の特性についても学び、SNS での情報発信や情報モラルについてもディベートを行いながら知識を深めています。デジタル社会を生きていく生徒たちにとって SNS に関する知識は、必要不可欠なものとなっています。具体的な事例を取り上げながら、互いの人権を大切にしつつ SNS を有効に活用していく方法について学習を深めていきます。

